

地

球

大正十五年
十二月
第六卷

地球 第六卷 總目錄 大正十五年 六月—十二月

圖版

第一版 空中より見たる御嶽と焼嶽の兩火山	(第一號)
第二版 つのや二種	(第二號)
第三版 十勝岳の破裂	(第三號)
第四版 近江野洲川三角洲上の人文	(第四號)
第五版 福井市鑿井配水地圖	(第五號)
第六版 明治七年樽前山噴火の圖	(第六號)
太平洋地域の探検と開發 <small>(上)</small>	小川 琢 治 <small>三五七</small>
<small>(下)</small>	
四國東部の地形考察と地殼變動の意義	船 越 素 一 <small>九</small>
地球内部の組成(アダムス及ウイリアムソン) <small>(一)</small>	三
<small>(二)</small>	
イギリス便り <small>(八)</small>	寺 田 貞 次 <small>三</small>
地理教材としての地形圖	中村左衛門太郎 <small>四〇</small>
<small>三十三 石見安芸山脈</small>	
<small>三十四 熊野川沿地方と紀州の東播磨岸</small>	
<small>三十五 朝鮮新羅地方のカルスト</small>	
<small>三十六 佐渡島の文高岩と文高岩壁</small>	
<small>三十七</small>	
十勝岳泥流の速さ	遠 藤 誠 道 <small>八三</small>
紀伊湯淺附近産植物化石 Tempuskyra 屬に就きて	中村左衛門太郎 <small>九</small>

生駒山脈生成論……………横山次郎…全

地名に關する二三の傳説……………福井薩男…二〇四

地球の橢圓率に就て……………熊谷直一…二〇六

交通の障害に就いて……………西龜正夫…二〇八

十勝岳活動の傳説と記録……………柴原小市…二一〇

泉州堺安政大地震並に津浪の記録……………上治寅次郎…二一六

北米西部マ州に於ける接觸變質に就て(上)(下)(エスコラ)……………菅谷泰昌…二一九

磐城守山附近風土雜記……………上治寅次郎…二二七

堺市四近鑿井地質……………小牧實繁…二四三

三角洲上の地理(上)(下)……………比企忠…二四九

岡山縣津山町に於ける地球學團第一回臨地研究會記事(一)(二)(三)……………西龜正夫…二五〇

福井市の地層及水層……………石川成章…二五三

熱帶農業に就て……………早坂一郎…二五五

若狹蘇門洞の奇勝と有用礦物……………春本篤夫…二五六

太原系(Taiyuan Series)に就て……………田中館秀三…二五八

隱岐島後の火山岩に就て(一)……………

樽前山噴火歴史……………

隱岐の牧畑..... 下間 忠 夫..... 四三

臺灣に於ける自然人文結合の事實..... 金 尾 宗 平..... 四九

講話

石油地質學概要..... 大 村 一 郎..... 四三二—四三三
四五四—四五五
四六〇—四六一

屋根概説..... 藤 田 元 春..... 四三二—四三三
四三六—四三七
四三八—四三九

摘 録

長尾、筑豊炭層と古期岩層との境界の性質..... 三

坪井、岩石組成を識別する分散法及び岩石、成因
研究に於けるその應用..... 二七

伊藤、戦寧の鐵礦床..... 二九

横山、美濃第三紀層の軟體動物化石..... 三〇

神津、八木、自在丸、間瀬産魚眼石の脱水現象..... 三二

神津、益田、曹達長石及月長石の透光及閃光と温度の關
係..... 三二

飯盛、吉村、黑雲母中の多色性ハロ..... 三六

横山、遠別、惠岱別油田の第三紀軟體動物..... 三七

横山、加賀能登の鮮新世貝類..... 三七

神田、南洋に於ける支那人..... 三七

飯盛、近江國田上山の放射能あるマンガンノザウル..... 三〇

飯盛、邦産ルビザウムの放射能度に就て..... 三六

飯盛、吉村、長垂産鱗雲母の組成並に邦産雲母の
リチウム含有量に就きて..... 三八

矢部、長尾、日本下部白堊紀に出るアレカプロチナ新屬..... 四五

矢部、半澤、日本のオルビトリナ含有岩石の地質時代..... 四五

新 著 紹 介

北海道火山湖研究概報..... 七

小川琢治分縣地圖..... 七四

西湖より包頭まで..... 二九

黒河の事情	三六
支那山東省の麥稈眞田	二六
比律賓に於けるカボックとゴム	二六
ウクライナ共和国	二七
西班牙の面積と人口	二七
伊太利の大理石	二八
世界の自動車數	二九
世界の葡萄産額の割合	二九
江戸の火事	二九
光線と古生物學	三〇
筑前遠賀郡洞山島の化石層	三〇
筑豊國境金國山隗ミカルスト地形	三〇
朝鮮各河水力豫察表	三一
米國太平洋岸の魚精	三一
カールスコエ海航通	三二
支那國有鐵道の名稱と延長	三二
ミスシツビー水路完成運動	三三
スエズ運河通航船舶數	三三
紀伊日高郡白崎村の紡錘蟲石灰岩	三三
朝鮮の大理石	三三
金の生産統計	三四
沿海州の水田	三五
シベリア鐵道の改善	三五
暹羅の灌溉事業	三六

石油の試掘に於ける微生物の層序學上の價値	三六
バルシヤの石油産地	三八
ルクセンブルクの鐵鑛業	三八
秘露國リマと其港カオヤ	三八
慶州	三九
南口	三九
河内國中河内郡日下の貝塚	四〇
日本海中の大和堆	四〇
改版日本近海水深圖	四〇
地球學關第一回研究發表會	四〇
第四十五回文檢地理科豫備試驗問題	四〇
日本から瑞西へ時計側及硝子輸出	四〇
蘇丹の棉花	四〇
智利硝石	四一
埃及の植物	四二
トホルスク近況	四二
小麥世界産額	四三
世界最南の商港	四三
質 疑 應 答	
褶曲山脈と斷層山脈の特性及び相互關係(文檢)	四六
ダゾア事情	四六
湖沼に關する歐文參考書	四九
西班牙夏期標準時	五〇

目次

廬山……………三三
 膠州堆……………三三
 ワラキヤ……………三三
 リガ……………三四
 ラボス……………三四
 北海道地名をアイメ語に依つて解説せる著書……………三五
 琉球諸島の構造……………三六
 フランスの中央高臺……………三六
 マツキー……………三九
 近、遠日點と冬、夏至とが一致せざる理由……………三九
 ロカルノ……………三九

地球學團々員名簿(大正十五年十一月一日現在)(六號)

正誤

四二五頁 下欄最終行の蘇澳にスオーと読み方を附ける。
 四二五頁 下欄表中の數量の下に千斤を入れ金額の下に圓を入
 れる。

地球

第六卷第一號

大正十五年七月一日發行

主要目次

圖版 第一版 本中より見ゆ 御嶽と燒嶽の兩火山
 太平洋地域の探検と開發(上) 藤田素治
 四國東部の地形考察と地殼變動の意義 船越素治
 地球内部の組成(アダムス及ウイナムソン) 藤田素治
 イギリス便り(八) 藤田素治
 地理教材としての地形圖(第廿三) 若見玄藏
 講話
 石油地質學概要(一) 藤田素治
 屋根概説(三) 藤田素治
 摘録
 新著紹介
 雜報
 質疑應答

地球第五卷總目錄

京都市帝國大學內

地球學團

地球第六卷第二號（八月號）豫告

太平洋地域の探検と開發（下）……………

…………… 理學博士 小川 琢治

紀伊湯淺附近産植物化石 *Tempskyia* 屬に就きて

…………… 理學士 遠藤 誠道

生駒山脈生成論…………… 理學士 横山 次郎

地球内部の組成（アダムス及ウイリアムソン）

（二）……………

磐城守山町附近風土雜記…………… 菅谷 泰昌

日本化石産地表（三）…………… 静岡縣……………

…………… 理學士 中村 新太郎

地理教材としての地形圖（第二十四）黃海道新幕
附近のカルスト……………

講 話

石油地質學概要（二）…………… 理學士 大村 一藏

屋根概説（四）…………… 文學士 藤田 元春

摘 錄

新 著 紹 介

雜 報

質 疑 應 答

地球學團第五回講習會開催豫告

本學團は夏期休暇を用ひて左記の要領により地質現象を主題とした講習會を開く、學團員の御賛加を期待する。

開 期 大正十五年八月十五日より十九日まで五日間

會 場 京都帝國大學内

講師及題目

アルプスと日本との地質構造を論ず……………小川 琢 治
 日本火山總説……………本間 不二男
 朝鮮の地質現象……………中村 新太郎
 重力の測定と日本に於ける重力の分布……………松山 基範
 北支那の地質……………山根 新次

時 間 割

八月十五日 八時—十時 十時—十二時 二時—五時
 八月十六日 小川 松山 本間
 八月十七日 小川 中村 松山
 八月十八日 山根 小川 中村
 八月十九日 山根 中村 山根

懇親茶話會

申込期限

會 費

宿 泊 所

講習會員資格

八月十七日午後五時半より午後八時
 八月五日迄に地球學團に申込むこと
 金五圓、御出席の上御納めのこと
 前以て御通知あらば宿所を定め置く、一泊中食附二圓内外、京都市上京區田中門前町四三(百萬遍西門横)村上靜宜館へ行かれると御便宜を計る。

地球學團員に限る。
 此の際入團希望の方は地球讀賣會々年分以上な地球發行所博多成業堂(大阪市南区大賣寺町西ノ丁二二番替大阪七倉倉參番)へ前納した上、地球學團へ宛て入團及び講習會參加を申込まれたい。

大正十五年七月

地 球 學 團

地球學團第一回臨地研究會

本學團は普通の講習會では地學の眞髓に觸れることが出来ないを考へて、茲に第一回の臨地研究會を企て、地質調査並に地質圖製作の作業を會員と共に行はうとする。我國では始めての企であるから會員及支部員の學問熱を高めることを豫想する。

開 期 大正十五年八月二十二日より八月廿七日まで六日間

開 場 岡山縣津山町 會 場 津山中學校

指導講師 中村新太郎、松 下 進、黒田 徳 米

申込期限 八月十日までに地球學團又は岡山地球學團支部へ申込むこと。

會 費 金參圓、御出席の上御納めのこと。

會員資格 地球學團員又は學團支部員に限る。

宿泊所 津山町戸川町曙旅館。宿泊料は中食附約二圓

會員の持参を要する物品 傾斜儀、鐵槌、方眼紙野帳、五萬分地形圖津山町、周田、坪井、福渡の

四圖葉。(地形圖は京都市木津屋橋通堀川東入小林又七出張店(振替大阪六八九貳四番)

で購入されるが便利です。一枚付三錢送料二錢)

本研究會は前頁豫告の講習會とは別個のものにつき御申込等は各別にされたい。

大正十五年七月

地 球 學 團

地球第六卷第一號

(大正十五年七月)

目次

圖版 第一版 空中より見たる御嶽と燒嶽の兩火山

太平洋地域の探検と開發(上)……………理學博士 小川 琢 治 一

四國東部の地形考察と地殼變動の意義……………船 越 素 一 九

地球内部の組成(アダムス及ウイリアムソン)(一)……………文學士 寺 田 貞 次 三

イギリス便り(八)……………文學士 寺 田 貞 次 三

講 話

石油地質學概要(一)……………理學士 大 村 一 藏 四

屋根概説(三)……………文學士 藤 田 元 春 五

摘 錄

○長尾巧—筑豊夾炭層と古期岩層との境界の性質

○長尾巧—佐世保炭田と唐津炭田との關係

○大正十四年本邦港別貿易額比較

質 疑 應 答

○褶曲山脈と斷層山脈の特性及び相互關係

○ダザアオ事情

新 著 紹 介

○北海道火山湖研究概報 ○小川琢治分縣地圖

雜 報

○十勝岳の破裂 ○布哇に於ける邦人の珈琲園 ○アイボリーナ

地球第五卷總目錄

百科圖錄

本圖錄は學術的にして趣味を兼ねる現代唯一の權威ある百科圖錄なり

▼執筆擔當は京都帝國大學各科教授及び其他斯道の専門大家を網羅す

▼各科に於ける圖錄は各其體系を明にし、或は總論、或は各論、一見して其真諦を學び得べく、

▼數葉示すところ別紙解説と相俟つて正に論述數千言句に勝る、圖錄は素より精巧なる寫真圖版

▼なれば其一葉を以て美術掛圖として室内を飾るに足る

▼毎月頒布▽壹輯拾貳葉▽玻璃版印刷▽厚手上質の約▽四六四倍版(約一尺×一尺二寸)▽帙入

▼會費一ヶ月二圓▽送料實費半年以上一時拂は本會負擔

▼眞に科學的智識の一大寶庫教育家は勿論一般家庭に缺ぐべからざる寶典なり

京都市上京區淨土寺南田町七十七番地

申込所 **博雅同好會**

振替(穴版七三六八番)

地球前號 (第五卷第六號) 要目

圖版 第十一版 北上縱谷中流部の分水嶺式形圖

人文地理學上より 觀たる日本の都市(下)…………… 理學博士 小川 琢治

北上縱谷中流部に就いて…………… 理學博士 渡邊萬次郎

朝鮮平安北道南市地方の部落名…………… 向山 武男

日本化石産地表(二、和歌山縣)…………… 理學士 中村新太郎

上越線清水隧道測量の概況…………… イギリス傾り(七)…………… 菅谷 泰昌

地理教材としての地形圖(第二十二)信濃小野盆地…………… 文學士 寺田 貞次

講話

本邦に於ける造山作用火山作用及び鑛床生成の關係(下)…………… 理學博士 加藤 武夫
附本邦鑛床の標式に就いて…………… 文學士 藤田 元春

屋根概説(二)…………… 文學士 藤田 元春

摘錄

新著紹介

雜報

質疑應答

地球學團規約

- 第一條 本學團は地球學團といふ。
- 第二條 本學團は地球に關する學術的研究を進め兼て同好の士の親睦をはかるを目的とする。
- 第三條 事務所を京都市白川道分町京都帝國大學地質學教室内に置く。又會員が多い地方に支部を置く事がある。
- 第四條 本學團の事業は次の如くである。
 一 雜誌並に圖書の刊行
 二 講演並に講習會の開催
 三 實地見學の指導
- 第五條 本學團員は地球購讀費として一年分六圓又は半年分三圓を發行所へ前納すること。
- 第六條 本學團員になりた人は、住所職業氏名を申込み、同時に地球購讀費半年分以上を、發行所へ送金する事。
- 第七條 購讀費を脱退しやうとする者は、其の旨を學團に通知すること。

註文規定

- 一 購讀者の御註文及び廣告に關する件は博多成象堂へ御申下さされ度候
- 二 本誌の御註文代金郵税共はすべて前金にて御送り下され度候
- 三 郵券代用にての御註文は一割増に願上候
- 四 振替貯金にての御送金は、振替穴限七參參參番、東京五貳六〇七番、博多成象堂に願上候
- 五 前金切の場合に「前金切」の印章捺捺致すべくに付直に御拂込下され度候
- 六 特別に請求書及領收書等を要する場合は郵券參錢御送付下され度候

一冊	定價金五十錢	郵税金貳錢
六冊(前金)	定價金參圓	郵税不申受
十二冊(前金)	定價金六圓	郵税不申受

廣告料 一頁 金五十圓

大正十五年六月廿五日印刷納本
大正十五年七月一日發行

(第六卷)
第一號

不許複製
禁轉載

發行所

編輯者 京都帝國大學内 地球學團
 右代表者 藤田元春
 發行所 大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地 博多 久吉
 印刷者 大阪市西區京町通一丁目十六番地 岸田重次郎
 印刷所 大阪市西區京町通一丁目十六番地 日本社印刷所

博多成象堂

大阪市南區大寶寺町西之丁貳拾貳番地
電話大阪特南壹壹七七番

發賣所

博多成象堂

東京五貳六〇七番
穴限七參參參番

所 賣 處
 (東京) 東京堂 大東館
 (大阪) 北隆館 上海屋
 (京都) 盛文館 文田屋
 (神戶) 實文館 川瀨堂
 (名古屋) 共盛社 大瀨堂
 (古屋) マガジン 川瀨書店 星野書店

CHIKYU - THE GLOBE



Vol. VI. No. 1.

July, 1926.

Plate 1. Volcanoes of Ontake and Yakedake, in the Japanese Alps viewed from the Air.

Geographical Considerations on the Pacific (1)

By T. Ogawa, *R. H.* 1

Orographical Notes and Crustal Movement of East Shikoku.

By S. Funakoshi 9

The Composition of the Earth's Interior.

(Adams and Williamson)21

Geographical Correspondence from England and Scotland (8)

By T. Terada, *B. S.*35

Topographical Maps recommended for Schools

(23).....40

Lectures on Oil-Geology.

By I. Omura, *R. S.*44

On the Development of the Outlines of Roof (3)

By M. Fujita, *B. S.*59

Abstracts—New Books—Geographical Notes—Inquiries.

Chikyu Gakudan

Kyōto Imperial University.

地球

第六卷第二號

大正十五年八月一日發行

主要目次

圖版 第二版 京都府商學部農林家ものや二種	十勝岳泥流の進路	紀伊湯淺附近産植物化石	生駒山脈生成論	地球内部の組成	地名に關する	地球の橢圓率に就て	地理教材としての地形圖	熊野川沿岸地方と紀州の東南海岸	石油地質學概要(二)	屋根概説(四)	摘録	新著紹介	雜誌	質疑應答
理學博士 中村左衛門太郎	理學博士 藤山誠道	理學博士 旗山外郎	理學士 遠藤誠道	理學士 旗山外郎	理學士 藤山外郎	理學士 藤山外郎	理學士 藤山外郎	理學士 藤山外郎	理學士 藤山外郎	理學士 藤山外郎	理學士 藤山外郎	理學士 藤山外郎	理學士 藤山外郎	理學士 藤山外郎

京都帝國大學內

地球學團